

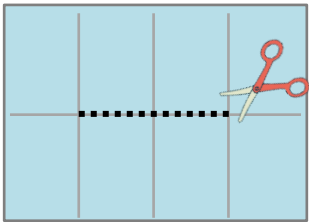
『このあとどうしちやおう』
シタケシタケノ作
クロアノ新社

『このあとどうしちやおう』



『夜空をみあげよう』
松村由利子／文
ジョン・シエリー／絵
渡部潤一／監修
福音館書店

●●● あたらしいえほん



紙を8つにおいて、半分にひろげてね。てん線のところに、ハサミで、きりこみをいれて、くみたてれば、本のかたちになるよ！

編集・発行 富山市立図書館
富山市西町5番1号
電話 076-461-3200
としょかんのホームページもみてね！

ぼくのおばあちゃんは、キックボクシングせかいおばあちゃんきゆうチャンピオン。いつもおじいちゃんとトレーニングをしています。ところがある日、おじいちゃんがびょうきでにゆういんしてしまいます。

ねじめ正一／作
山村浩二／絵
くもん出版



『キックボクサー』

えほん『ぼくのおばあちゃんは

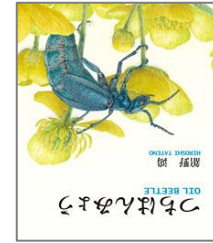


7・8月号



つちはんみよという虫は、生まれたままではわずか4日しか生きられません。そのため、ヒメハチバチというハチのなかまの巣にもぐりこむので、ひっこしに生きるようすをそえてみましよう。

館野鴻／作・絵
借成社



『つちはんみよ』

えほん
『むかし日本狼がいた』
にほんおおかみ

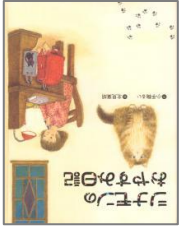


菊池日出夫
／文・絵
福音館書店

むかし、日本の山には、おおかみがすんでいました。おおかみは山のかみさまといわれ、おそれられています。男がうしをひいて山みちをあるいていると、おおかみたちがあつまってきました。

なつみは、かわいねこの絵がいっぱいのノートをもらいます。ねこは、いなくなつた飼いねこのシナモンにそっくりでした。それから毎日ノートの日記をつける、シナモンから返事がときます。

小手鞠るい／作
北見葉胡／絵
講談社



『シナモンのおやすみ日記』

K913
『おばけのばけひめちゃん』



たかやまえいこ
／作
いとうみき／絵
金の星社

ばけひめちゃんは、おばけのおひめさま。まわりはおとなのおばけばかりで、たいくつしています。ある日、にんげんの子どもがえんそくにくるときいて、おしろをぬけだしました。

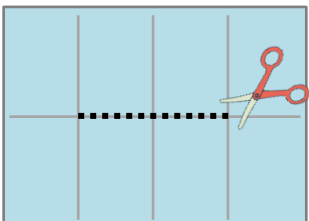
ライスターとは、名人のライスターさん、世界一きれいな羽田空港で、そのチームをひきいるリーダーです。17歳のときには中国から日本へ来て、清掃の仕事をはじめ、ついに清掃の名人になったのです。何種類もの洗剤を使いわけたり、思いやり的心をもつて仕事をする様子をしようかします。

K518 『新津春子。世界一のおそうライスター！』
若月としこ／著
岩崎書店

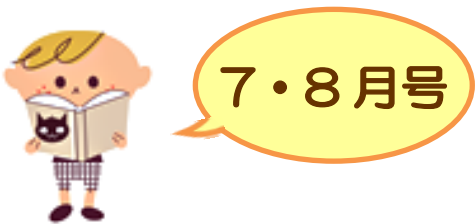
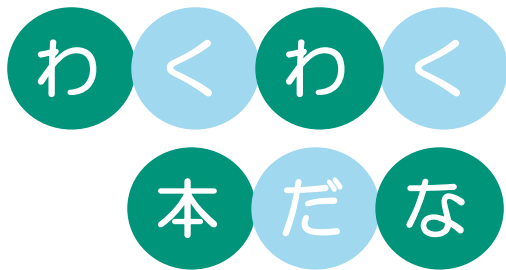


盲導犬は、目の不自由な人が安全に歩くための助けとなる犬です。犬は10年ほどはたらいき、その後で引退します。では、引退した犬はどうなるのでしょうか？ 札幌にある老犬ホームは、引退した犬が安心して過ごせるようにつくられた世界で初めての施設です。老犬たちの世話を続け、てきた辻恵子さんが、仕事について教えてください。

K369 『ハーネスをはずして』
北海道盲導犬協会の老犬ホーム
辻恵子／作 あすなろ書房



紙を8つにおって、半分にひろげてね。てん線のところに、ハサミで、きりこみをいれて、くみたてれば、本のかたちになるよ！



編集・発行 富山市立図書館
富山市西町5番1号
電話 076-461-3200
としょかんのホームページもみてね！



K913 『旅のお供はしゃれこうべ』
泉田もと／作 岩崎書店

惣一郎は、「大黒屋」の一人息子。父から使いをたのまれて旅に出ましたが、お供の市蔵に全財産を持ちにげされてしまいます。落ちこむ惣一郎に話しかけてきたのは、なんと、人間の頭がい骨「しゃれこうべ」の助佐でした。助佐と惣一郎は、盗まれたものを取りもどそうと、江戸へ向かいます。